



あなたの思いが、淀川を変える

聞かせて川の姿を、 語って川への想いを

淀川水系流域委員会では、20～30年後の淀川水系のあり方を考えるにあたって、みなさん一人ひとりの意見をお聞きしたいと考えています。あなたの川への思い、ご意見をお寄せ下さい。明日の淀川のために是非、ご応募ください。



こんなご意見をお寄せください

- 問題点：淀川水系で、今、何が一番問題か？
- 理想・要望：どのような川が望ましいか？
- 実現方法：そのためには、どのようにすべきか？

こんな形で活かされます

- ご意見は、委員会、部会の議論に反映させていただきます。
- ホームページ等で公開（所属、氏名等を含む）させていただきます。
- 応募された方に委員会または部会で意見を発表して頂くようお願いすることもございます。

以下の川についてご意見をお寄せください

- 対象は琵琶湖・淀川水系（上図参照。淀川、木津川、桂川、宇治川、猪名川、草津川、野洲川、琵琶湖等）です。
- これらの河川全体についても、特定の場所や河川についてのご意見でも結構です。

A4判1枚で提出してください

- A4判の紙1枚以内（厳守）にまとめた内容を裏面送付先まで、郵送、FAX、E-メールでご提出ください。裏面のホームページからの応募も可能です。
- 応募の際には、氏名・連絡先を明記して下さい。

しめきり：平成13年12月20日(木)必着

淀川水系流域委員会とは

これからの淀川を考えるために作られました

「淀川水系流域委員会」(以下流域委員会)は、今後、20~30年間の具体的な河川の整備内容を示す「河川整備計画」について学識経験者から意見を聴く場として、平成13年2月1日に国土交通省近畿地方整備局によって設置されました。流域委員会は委員会と3つの部会(琵琶湖部会、淀川部会、猪名川部会)で構成され、53名の委員が所属しています。

公共事業の計画づくりのモデルを目指しています

流域委員会では以下のような、従来にない新しい方式を導入し、今後の公共事業の計画づくりのモデルになることを目指しています。

- ▶ 準備会議において委員会の構成、メンバー等を審議
委員会の構成、委員の選出など委員会の内容は、有識者からなる準備会議にて審議を行い決定しました。また、委員選出においては一般からの公募も実施しました。
- ▶ 委員による自主的な運営
検討内容、進め方等は委員が自主的に決定し、第三者的立場で民間企業が庶務としてその運営をサポートしています。
- ▶ 審議のプロセス、内容の情報公開
会議及び会議資料、議事録等は、原則すべて公開しています。
- ▶ 幅広い意見の聴取
委員は、治水、利水、環境、人文その他の幅広い分野で構成されており、地域の特性に詳しい委員も多数含まれています。会議では一般傍聴者からの意見聴取も実施しています。

広く一般の方々にご意見をお伺いしたいと考えています

流域委員会は設立以来、精力的に議論を重ねています。これまでも委員会、部会の会議中に一般傍聴の方々からご意見を頂く機会を設けてきました。今回は、来年4月に予定されている「中間意見取りまとめ」に向けて、テーマを絞り、より多くの方々から意見を募集することとなりました。

送付、お問い合わせ先

淀川水系流域委員会 庶務：株式会社 三菱総合研究所 関西研究センター
(担当 新田、柴崎、水嶋、森永)
〒530-0003 大阪市北区堂島2-2-2(近鉄堂島ビル) TEL：(06)341-5983 FAX：(06)341-5984
ホームページ：<http://www.yodoriver.org/> E-mail：k-kim@mri.co.jp